

とはち通信

※長崎西南部の史跡・名勝・天然記念物等の紹介通信

第 17 号

※一説によると、かつて長崎西南部一帯を総称して戸八ヶ浦（とはちがうら）と呼ばれた時期がありました。現在、この名は存在しませんが、長崎西南部に対する尊敬の念をこめてこのようなタイトルをつけてみました。
二〇一三年六月一日 落矢八郎

新たな発見（号外）

去る五月二十五日に長崎要塞の標柱を発見しました。体力をつけようとジョギングをしたところ、見たことのある標柱を見つけました。最初は半信半疑でしたが、「やっぱり…間違いない！」の気持ちへ変わりました。突然のことだったので、しばらく、

放心状態でしたが、気を取り直して標柱の写真と大きさを測りました。拓本は後日ということで、取りあえず略図と写真を報告させていただきます。第十三号（落矢ダム南）と第八号（深堀城山）を結ぶ線上に位置することが第1図をみてわかります（5月28日）。次号は小ヶ倉の字の報告をします。

長崎要塞第三地带標

2nd Z 長崎要塞第

第十一号

第十一

陸軍省

陸軍

明治三十二年六月十日

明治三十二年

第1図 第十一号標柱展開図 (S=1/10)
※赤字は推定を意味します

赤線…第1区線（点線は推定線）
青線…第2区線
緑線…第3区線



第2図 長崎要塞地带標略図（この挿図は国土地理院の1/25000の地図をもとに作成しました）

事務局
とはちろう

● ホームページ
● メール
h_ochiya@yahoo.co.jp

※はち通信で検索



写真1 第十一号標柱 遠景



写真2 第十一号標柱 近景①



写真3 第十一号標柱 近景②



写真4 第十一号標柱 近景③